

令和4年度（2023年度） 技術・家庭科（技術分野） 年間指導計画【第1学年】

評価 方法	ア 授業態度、発言 オ 作品	イ ワークシート カ 課題レポート	ウ 技術ノート キ 作業記録表	エ 定期考査 ク 振り返りシート
----------	-------------------	----------------------	--------------------	---------------------

教科横断的視点：他教科関連（教科名） 内容

月	単元	時数	学習内容	評価規準		
				知識・技能 (ア、エ、オ)	思考・判断・表現 (ア、エ、オ、カ)	主体的に学習に取り組む態度 (ア、イ、ウ、キ、ク)
4	情報の技術	3	Word の活用 ・自己紹介カードの作成	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアを使用して、基本的な情報の処理ができる。 ソフトウェアの特徴と利用方法を理解している。 	ソフトウェアを使用して、自らの考えを表現する方法の工夫について考えている。	作品の構成等を考えてより良い作品を作成しようとしていたり、情報処理の知識を身につけようとしている。
5	材料と加工の技術	3	木工作品の製作 ・技術の見方・考え方、構想	技術の見方、考え方を理解し、課題を設定するために活用することができる。	生活の中から問題を見だし、課題を解決するための作品を構想することができる。	技術の見方、考え方を活かして、自ら設定した課題を解決しようとしている。
6		2	製図 ・等角図 数学 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> 製作品の構想を等角図で表すことができる。 等角図の書き方を理解している。 	等角図を利用して、製作品の構想を表現する方法の工夫について考えている。	構想した製作品の寸法、形状を表すために、等角図を利用しようとしている。
7		4	木工作品の製作 ・差しがねの使い方、けがき	<ul style="list-style-type: none"> 工具を正しく使用し、けがきをすることができる。 使用する工具の使い方及び仕組みと効果的な使用方法との関係について理解している。 	必要な工具や機器の使い方の改善について考え、図面にしたがって、必要な線を書いている。	けがきの目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫して必要な線を正確に書こうとしている。
9		5	木工作品の製作 ・のこぎりびき	<ul style="list-style-type: none"> 工具を正しく使用して、のこぎりびきができる。 使用する工具の使い方及び仕組みと効果的な使用方法との関係について理解している。 	必要な工具や機器の使い方の改善について考え、木取り図にしたがって、部品のおよその寸法の材料を切り取っている。	材料取りの目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫して正確な部品を製作しようとしている。

10	材料と加工の技術	5	木工作品の製作 ・鉋の使い方、 部品加工	・部材の表面をかんなややすりを使って仕上げることができる。 ・部品加工で使用する工具の使い方及び仕組みと効果的な使用方法との関係について理解している。	部品加工に必要な工具や機器使い方の改善について考え、作品に必要な部品を製作している。	部品加工の目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫して正確な部品を製作しようとしている。
11		2	製図 ・第三角法 <u>数学</u> <u>立体の投影図</u>	・製作に必要な図面を第三角法で書くことができる。(アオ) ・第三角法による図面の書き方を理解している。	第三角法で、製作品の構想を表現する方法の工夫について考えている。	構想した製作品の寸法、形状を表すために、第三角法の規則に従って、設計図を書こうとしている。
12		3	木工作品の製作 ・部品検査、仮組み立て	・部品検査、仮組み立てをすることができる。 ・部品検査、仮組立で使用する工具の使い方及び仕組みと効果的な使用方法との関係について理解している。	部品検査、仮組み立てに必要な工具や機器の使い方の改善と組み立て手順を考えている。	部品検査、仮組み立ての目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫して、仮組立をしようとしている。
1		3	木工作品の製作 ・組み立て	・組み立て手順に従って、組み立てができる。 ・組み立てで使用する工具の使い方及び仕組みと効果的な使用方法との関係について理解している。	組み立てに必要な工具や機器の使い方の改善について考え、作品を完成させている。	組み立ての目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫して正確に組み立てようとしている。
2		3	これからの材料と加工の技術	持続可能な社会の構築のために必要なこれからの材料と加工の技術の概念を理解している。	持続可能な社会の構築に向けて、これからの材料と加工の技術を評価し、適切な選択、運用、改良について考えている。	持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
3		3	木工作品の製作 ・やすりがけ、 塗装	・正しい方法で塗装ができる。 ・塗装で使用する工具の使い方及び仕組みと効果的な使用方法との関係について理解している。	塗装に必要な工具や機器の使い方の改善について考え、製作品を仕上げている。	塗装の目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫して塗装をしようとしている。